



▲次回サミット開催地を紀の川市へ引き継ぎ

サミットの最後には、ほたるサミット参加6市町の首長名で、「共同宣言」を発表しました。

開催地を代表して竹内町長が「共同宣言」を読み上げ、ホタルの保護活動に努め、自然と人間が共生できるまちづくりを推進することを確認しました。

最後に阿久比町長から紀の川市長へ、次回開催地の引き継ぎが行われ、サミットは閉幕しました。

「ホタルの保護活動に努め、自然と人間の共生」を目指す
共同宣言を発表



▲共同宣言を読み上げる竹内町長

ほたるサミットあぐい'10 共同宣言



私たちのまちは、先人のたゆまぬ努力と英知により発展を遂げるとともに、豊かな水と緑に恵まれた自然を保ち続けている美しいふるさとです。また、そこに生息するホタルは、自然環境のパロメーターであり、まちの宝物です。

初夏の訪れとともに、幻想的な光を放ちながら夜の水田や川のほとりを飛び交うホタルは、人々の心を和ませ安らぎを与えてくれます。夏の風物詩「ホタル」と身近にふれあえるまちとして全国に誇れることは、このうえない喜びであります。

しかし、便利さを優先した結果、地球温暖化などの様々な環境問題により、ホタルをはじめ生物の生息環境は悪化し、世界中で数多くの野生生物が絶滅の危機に瀕しています。生物多様性を保全するため、社会や人間のあり方を今一度真剣に見つめ直すことが重要です。

私たちは、ホタルの保護を通じて自然環境を悠久に守る道を模索するため、「日本一のほたるの里」を目指す指導者が一堂に会し、活力あるふるさとづくりを考える交流の場として「ほたるサミットあぐい'10」を開催し、広くこの取り組みをアピールするとともに、「自然と人間の共生」を目指し次のことを確認しました。

1. 環境、教育、文化など幅広い分野で交流を深めるとともに、ホタル保護活動や環境保全施策等について情報交換を行います。
1. ホタルにも人間にも安全ですみよい環境づくりを目指し、下水道事業等を積極的に推進し、河川や土壌の浄化運動を展開します。
1. 水と緑に恵まれた自然環境を活かし、ホタルの保護活動を通して多様な生物の保全を推進します。
1. ホタルを通じて命の大切さを伝えるとともに、住民と行政が協働してホタルの保護活動に努め、自然と人間が共生できるまちづくりを推進します。

以上、友愛と協調に基づいて、ここに宣言します。

平成22年6月25日

ほたるサミット参加市町

和歌山県 紀の川市長 中村 慎 司 岡山県 真庭市長 井手紘一郎 福岡県 北九州市長 北橋 健 治
 山口県 下関市長 中尾 友 昭 滋賀県 米原市長 泉 峰 一 愛知県 阿久比町長 竹内 啓 二